

かゑらじと かねて思へハ 梓弓
なき数に入る 名をぞとどむる
四條畷に散った若き武将、楠正行

楠正行通信 第81号

平成30年12月11日

発行＝四條畷楠正行の会

〒575-0021 四條畷市南野5丁目2番16号

四條畷市立教育文化センター内 072-878-0020

大阪電気通信大学・四條畷楠正行の会のコラボで「楠正行かるた」制作

12/8 市民総合センターでかるた大会開催

「正行キング」2名、「内侍クイーン」3名決定！

東市長、森田教育長の二人、絶賛

12月8日（土）、午後1時から、市民総合センター1階・展示ホールで、「楠正行くすのきまさつらかるた」の贈呈式並びにかかるた大会を開催しました。

このかるたは、私たち四條畷楠正行の会が制作を依頼し、大阪電気通信大学の社会プロジェクト実習授業として木子香准教授の指導の下、20名の学生によって、「絵札」「字札」「しおり」「地図」「箱」が手作りによって制作されたものです。

午後1時に始まった「かるた贈呈式」は、企画班・阪本君の司会で始まりました。



来賓として激励に駆けつけた東市長は、「大阪電気通信大学と四條畷楠正行の会のコラボで、昨年の絵本に次ぐ第2弾、楠正行のかるたをつくっていただいた。絵札、字札とも素晴らしい出来で、感心するばかりです。四條畷と言えば、四條畷神社に祀られる楠正行は非常にゆかりの深い歴史上の人物で、このカルタを通じて大いに発信したいと思います。ありがとうございます。ま



す。」と挨拶しました。

続いて、森田教育長は「わたしは子どもの頃、何もわからず小楠公墓所で遊んでいました。今から思えば、

もっと楠正行のことを知っておれば、と思っています。このように素晴らしいかるたを作っていただき、嬉しい限りです。」と挨拶しました。

贈呈に移り、冒頭、大阪電気通信大学の魚井総合情報学部長から、同大学の社会プロジェクト実習授業についての説明と今回の成果、更に、今後も引き続き同大学と四條畷市との産官学連携事業の強化に努めたいとの挨拶に続き、学生代表から四條畷楠正行の会の木村さんに贈呈され、扇谷からお礼の言葉を述べました。（写真上から、東市長、森田教育長、魚井学部長、かるた取りの様子、贈呈受ける木村さん）



展示ホールに4枚の畳を敷き、開催

かるた大会は、午後1時30分から、会場内に4枚の畳を敷き、4人一組となって、「小学校低学年の部」「同高学年の部」「中学生の部」「高校生以上大人の部」に分かれて始まりました。

「吉野を出でていざ四條畷 本陣往生院から馬懸ける」と読み手が字札を詠み始めると、「はい！」と素早く絵札を取る子どもたちの声が、会場いっぱいに広がり、一気に盛り上がりました。

「このかるたを知り合いにも伝えます」

親子連れで参加した一人のお母さんは、「たまに、家でかるた遊びをしています。今日は、広報誌を見てこのかるた大会のことを知り来ました。四條畷のことを発信する、



素晴らしいかるただと思います。このかるたのことは、知り合いにも伝えたいと思います。」と、子どもさんがかるた取りに興じる姿を、嬉しそうに眺めておられました。

また、小楠公墓所のすぐ近くに住んで居られるという保護者のお母さんは、「家が小楠公墓所の近くですので、小楠公は身近に感じています。素晴らしいかるたができましたね。」と、子どもさんのかるた取りを見守っておられました。

普段、かるた遊びは全くしないという大東市から参加されたお母さんは、「今回は、四條畷神社のすぐ近くに住んでいますので、関心があり、親子で参加しました。」と、二人の御嬢さんがかるた取りをする姿を、身を乗り出して応援しておられました。

「すごい賞をもらってうれしい！」

午後3時30分まで、かるた取りをつづけ、いよいよ「まさつらかるた」の名人位の発表です。

四條畷楠正行の会では、楠正行顕彰の一環として、このかるた遊びを通じて、四條畷市はもちろんのこと、楠氏ゆかりの自治体でのかるた大会を企画しています。そして、ご当地ごとに、多くの札を取った子どもたちに、名人称号として、男子児童には「正行キング」、女子児童には「内侍クイーン」の認定証を発行する計画です。

この日は、その第一号となる、四條畷の「正行キング」と「内侍クイーン」を発表しました。

「正行キング」(2名)になった宮川君(3年生)は、「たくさん取れてうれしい。これからは正行かるたに親しんでいきます。」と、また宮川君(5年生)は「何回もチャレンジし、複数トップになりました。これからはがんばります。」とコメント。

また、「内侍クイーン」(3名)になった山本さん(3年生)は「楽しかった。かるた取りは初めてやった。」と、邑本さん(6年生)は「久しぶりにかるたをして、すごい賞をもらって嬉しいです。」と、山本さん(6年生)は「楽しかったです。」と司会者のインタビューに答えました。

最後に、新しく決まった「正行キング」「内侍クイーン」と一緒にスタッフ全員が収まって記念撮影をし、かるた大会は無事終了しました。

この日から「まさつらかるた」の販売開始

この日、四條畷楠正行の会が刊行した『楠正行くすのまさつらかるた』の販売も実施しました。

原画展を見て、また子どもたちのかるた遊びを見学して、「このかるたが欲しい。」「素晴らしいかるたですね。頂いて帰ります。」と、多くの方に買い求めていただきました。

今後、このかるたは、四條畷市立教育文化センターでお買い求めいただけます。頒価は1500円(税込)です。また、



福助堂書店(楠公通り商店街)、くるみ書店(JR忍ヶ丘駅前)、宮脇書店生駒北店(山口川バス停前)でも取り扱っていただきます。

この日、参加いただいた方からアンケートのご協力を頂きました。絵札は高評価を頂きましたが、字札の内容は少し難しかったようで、「分かりにくい」と答えた方が35%ありました。

そして、大阪電気通信大学と四條畷楠正行の会で進めてきた産学連携事業としてのカルタプロジェクトの認知については、「制作ブログ」が28.6%、「正行通信」は7.1%と、情報発信の方法に課題が残りました。

しかし、「楠正成という武将を元から知っていましたか」との質問に、50%の方が「はい」と答えていただき、子どもたちにも四條畷で楠氏の認知の広がりを感じる、嬉しい結果となりました。皆さん、ありがとうございました。(写真:正行キング・内侍クイーンとスタッフ一同)

■ 同時開催 絵札の原画展 ■

12月5日(水)から12月11日(火)までの1週間、四條畷市立総合センター1階エントランスホールで、「楠正行くすのまさつらかるた」の絵札・原画展を開催しました。

開催期間中の12月6日(木)、午前中に訪れた女性は、「懐かしい思いで、いっぱいです。素晴らしい絵揃いですね。」「楠正行が「くすのきまさつら」と読める人が少なくなってしまい、寂しく思いましたが、このようなかるたを通じて、一人でも多くの子どもたちに知ってもらおうと、四



條畷にとっても良いのではないですか。」と、一枚一枚の絵札を食い入るように見ておられました。



別のイベントで総合センターを訪れた女性グループは、「ついでで御免なさいね。」と言いながらも、「上手ね。」と、感想を聞かせていただきました。(写真:いずれも総合センター1階ロビーの展示ブースで)

(文責『四條畷楠正行の会』代表 扇谷昭)